

回を重ねて… 思うこと

東御市梅野記念絵画館  
館長 佐藤 修

届いた荷を解きます。「私」氏の「愛する一点」が現れます。コメントに目を通します。まるで幼子を託されたような温かい気持ちが伝わってきます。「お預かりします」と心の中でつぶやきます。

年に一度の展覧会、回を重ねること今年で19回。ここまでの出展作品は1,300点を越えました。

蒐集家、それも小コレクターが主役のこの展覧会は、梅野記念絵画館の独創的な企画として美術界に知られ、当館の代名詞ともなっています。高額・高名な作品でなくとも絵そのものの質の高さと、それに加えての持ち主の熱い思いが披露されるこの展覧会によって当館は、「小コレクターの聖地」と呼ばれるようになり、梅野隆氏の雅号「木雨」の名を冠した「木雨賞」は「在野の美術研究者にとってはノーベル賞のごときもの」（名古屋画廊舎主・中山真一氏）とまで言われています。

今年も60数点の秀作・力作が寄せられました。それもこれも「友の会」の皆様のお蔭です。館長として心から御礼を申し上げます。

## ■2019年展覧会スケジュール

変更となる場合もございます。

|       | 7                                 | 8                  | 9                                | 10                               | 11                              | 12 | 1 |
|-------|-----------------------------------|--------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----|---|
| 大展示室  | 第19回<br>私の愛する一点展<br>7/2~9/23      |                    |                                  | 永遠の求道<br>第1部 小倉尚人展<br>10/6~10/31 | 永遠の求道<br>第2部 小倉尚人展<br>11/2~1/14 |    |   |
| ふれあい館 | アート・100年<br>芸術による社会実践<br>7/2~7/28 | 純な水彩画展<br>8/3~8/30 | 風と土 経営とアート<br>のSOZO展<br>9/1~9/23 | 天空の芸術祭<br>10/8~10/27             |                                 |    |   |

## ■2019年イベントスケジュール

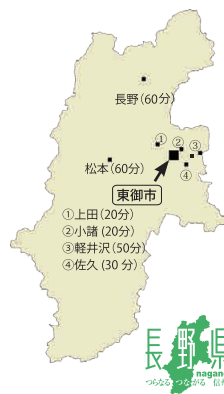
|                   |                |        |                                 |
|-------------------|----------------|--------|---------------------------------|
| 7/7(日)            | 七夕ナイトミュージアム    | 17:00~ |                                 |
| 7/27(土)           | 木雨忌            | 13:00~ | バスツアー(池袋から)                     |
| 8/4(日)            | マルーシカのお話会(要予約) | 10:30~ |                                 |
| 9/8(日)            | 小山菜穂子朗読会(要予約)  | 13:30~ |                                 |
| 10/12(土)~10/13(日) | 火のアートフェスティバル   |        | *変更となる場合もございます<br>詳細はお問い合わせください |

## ■施設情報、開館案内

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>  
〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 TEL0268-61-6161  
FAX 0268-61-6162 Mail: umenokinen@ueda.ne.jp  
開館時間 午前9時30分~午後5時(4時30分までにご入館ください)  
入館料 800円(高校生以上) 15名以上団体 700円  
身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。  
休館日 7月8、16、22、29日 8月5、13、19、26日 9月2、9、17日

## ■アクセス

- お車** 練馬ICから2.5時間  
**鉄道** 東京から最速2時間  
 しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分
- ◆関東、北陸方面から  
上信越道東部湯の丸インターから15分
  - ◆関東、北陸方面から  
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、田中下車。
  - ◆中部、関西方面から  
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間
  - ◆中部、関西方面から  
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、田中下車



# 第19回 私の愛 する 一点展

2019年  
7月2日(火)~9月23日(月・祝)



木雨忌(参加者によるギャラリートーク)  
7/27(土) 13:00~

同時開催: 市民ギャラリー

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 TEL0268-61-6161



## 第19回「私の愛する一点展」に寄せて

梅野記念絵画館友の会 会長 秋山 功

今年もまた、「私の愛する一点展」の季節がやって参りました。東御市の花岡利夫市長は、梅野隆前館長が考えたこの斬新な企画をいつも挨拶の中で褒めてくださいます。実際、一銭のお金もかからず、全国のコレクターが持っている自慢の一品を提供してもらい展覧会が開催できるのですから、予算の厳しい美術館にとっては夢のような企画です。また、参観者数が問われる今の世の中では、唯一参観者の数が期待できる優良な展覧会でもあります。それは、美術館だけでなく、コレクターにとっても死蔵されがちな自慢の一品が、たくさんの人たちに見てもらえるのですから、コレクターの自己実現の場に留まらず、社会貢献にもつながっています。また、日頃評価される機会の少ない出品作家にとっても、その顕彰につながるわけですから一石二鳥どころか、一石三鳥にも一石四鳥にもなり、将に卓越したアイデアといえるでしょう。

さて、この展覧会は、例年梅野隆前館長の遺徳を偲び、志を引き継ぐために命日である7月に開催されておりますが、さらにその業績を顕彰するものとして、木雨賞（木雨は梅野隆さんの号）が制定されました。早いもので今年第6回となり、本年度は荒井龍男などの作品を顕彰し続けている野原宏さんに決定しました。野原さんは、全国のコレクターの団体であるアート・わの会の理事長としても、長く美術を通じた社会貢献活動を実践されてきた方です。所有する作品も全国の美術館で開催される展覧会に数多く貸し出しをされています。

また、今年も特別賞が検討され、私の愛する1点展では横井弘三作品を出品し顕彰してきた尾崎誉さんに決定しました。尾崎さんは、友の会のオークションにも数多くの作品を提供し、時には落札された作品の全額を友の会に寄付して下さるなど、友の会にとっても貢献者です。特別賞にふさわしい人物として決定しました。

さらに、今年も現存物故を問わずその年に出品された作品の中から、選考委員会とは別に有志の幹事が自分の目で見てもよかったと思う作品に幹事賞という個人賞を与えています。副賞は、東御市自慢の農産物や特産物などが与えられ展覧会を盛り上げてくれます。

ともあれ、今年度も全国の会員の皆様を選んだ名品が数多く出品されますので、多くの方々のご高覧を賜りますようお願い申し上げます。

### 出品作家一覧

青山義雄、青山博之、芥川麟太郎、安倍直人、池田淑人、池部鈞、石野容三、猪熊昇、今井俊満、上田泰江、梅野亮、浦久保義信、小笠原亮一、小倉尚人、オノトシゾウ、笠木次郎吉、北村正信、鬼頭曄、木下晋、桑山忠明、廣本季興丸、近藤克美、蔡國華、坂口右左視、寒河江智果、櫻井陽司、佐藤徹、佐藤武造、島村洋二郎、ジル・サックシク、曾根カナエ、田島隆夫、棚橋文子、坪内節太郎、冬青小林勇、トウナスカボチャラダムス、富樫寅平、名嶋憲児、西嶋豊彦、西村俊郎、西脇順三郎、西村輝昌、のむら清六、長谷川利行、浜田浄、林司馬、桶勝朋巳、東白陵、秀島由己男、平澤喜之助、藤山ハン、藤森武、星崎孝之介、堀口泰造、南薫造、宮坂房衛、茂木亘、森仁志、柳沢淑郎、横井礼以、わたなべゆう

